

2009 年度 小委員会活動成果報告

(2010 年 2 月 5 日作成)

小委員会名	JASS10 改定小委員会		主 査 名：梶田 佳寛 就任年月：2009 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	材料施工委員会 (鉄筋コンクリート工事運営委員会)		委員長名：梶田 佳寛 主 査 名：阿部 道彦
設 置 期 間	2009 年 4 月 ～ 2013 年 3 月		
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<p>・(設置目的) JASS10 は、1965 年に制定されて以来、1972 年、1978 年、1991 年および 2003 年とおおよそ 10 年おきに改定せれてきた。プレキャスト鉄筋コンクリート工事に関しては、2003 年の改定のあと、さらに高強度化が進み、技術の現状に対応するため改定小委員会を設置して 2012 年度を目途に改定作業を行う。</p> <p>(各年度活動計画) 2009 年度～2012 年度にかけて、2003 年版 JASS10 の問題点の抽出、プレキャスト鉄筋コンクリート工事に関する研究・技術開発の動向を調査し、法令・基準との整合を図り、本文・解説案を検討し、2012 年度中に完成させる。</p>		
委員構成 (委員名 (所属))	<p>委員公募の有無：なし</p> <p>梶田佳寛 (宇都宮大学)、鹿毛忠嗣 (建築研究所)、杉山央 (建築研究所)、早川光敬 (東京工芸大学)、飯塚正義 (プレハブ建築協会)、石川伸介 (安藤建設)、遠藤寛 (鴻池組)、川村敏規 (三井プレコン)、河村光昭 (清水建設)、橋高義典 (首都大学東京)、木村匡 (UR 機構)、小島正明 (竹中工務店)、佐藤幸恵 (東京大学)、陣内浩 (大成建設)、中澤春生 (清水建設)、中田善久 (日本大学)：WG の委員を含む</p>		
設置 WG (WG 名：目的)	<p>品質・調合 WG：プレキャストコンクリートの要求品質・調合・製造法について専門委員を集めて検討する。</p> <p>組立・接合 WG：プレキャスト鉄筋コンクリート部材の現場における組立ておよび接合法について、専門委員を集めて検討する。</p> <p>一般事項 WG：プレキャスト鉄筋コンクリート造における構造体の要求性能、耐久設計基準強度について、専門委員を集めて検討する。</p>		
2009 年度予算	100,000 円	ホームページ公開の有無：なし 委員会 HP アドレス：	

項 目	自己評価
委員会開催数	12 回 (2009 年度)：内訳 小委員会 3 回、WG 各 3 回
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等)	
大会研究集会	
対外的意見表明・パ ブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得ら れた成果との関係)	2009 年から開始し、現在各 WG において改定方針を検討中である。コンクリートは建築基準法で指定建築材料になっているが、プレキャストコンクリートは製品であり、指定建築材料に位置づけられていない。そのため、その製造管理、品質管理、工事管理の拠り所として JASS10 は期待されている。
委員会活動の問題点 ・課題	予算が少なく、委員の献身的な協力によるところが大である。予算が少なく、遠方の委員が参加しにくい。

*小委員会活動成果報告書は本書式を基本とする。ただし、それぞれの本委員会において活動実績を報告する共通項目があれば、最下段に項目を追加して記述してもよい。